

小中村清矩 （海防）、國學者、文學博士。文政四年十一月二十日江戸生
れ、明治二十八年十月十一日歿（八二—九五）。舊姓原田、幼名榮之助、
通稱金四郎、金石齋門、將曹。筆名やすむろ、やすむろのゝあると清矩、
小中村の清矩、小中村清矩、東居、東洲、紀清矩、阿豆麻居、陽春廬
主人等。初の龜田鷲谷、村田春野等と學び、安政二年本居内遠に入門。
四年和歌山藩會國學教授、文久二年和學講談所導師、明治二年大學中
助教、更に神社大史、教部省大録を経て、十年内務省寺社局御用掛、
十五年東京大學教授。東京第七院會員、貴族院議員を務めた。
著書『日用文鑑』全二冊（中村秋香共編、明治十七年二月）『書屋藏
粹、福田仙藏出版』、『歌舞音楽略史』全二冊（明治二十一年二月）『
十七日自刊、吉川半七發賣。再刊、昭和二年七月。千日岩波書店』『岩
波文庫』、『國史學の系』（明治二十八年十一月）『吉川半七出
版』、『官制沿革略史』（明治二十二年六月二十日東京帝國大學藏版、
吉川半七刊）、遺稿『合義解講義』（明治二十六年二月、千五百吉川
弘文館）、遺著『有聲錄』（池邊義象校、大正四年九月、千日廣文堂
書店。再版、十年十一月五日大倉廣二郎刊、文榮堂書店）等。